

【レポート】事業を通じて社会課題の解決に取り組む、昭光通商の活動

～サステナビリティ委員会設立から 1 年を振り返る～

化学品や合成樹脂、金属・セラミックスなど素材の総合商社である昭光通商株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渡邊 健太郎、以下昭光通商）は、素材商社として培ってきた知見やネットワークを活かし、お客様や社会が抱える課題の解決に取り組んでいます。

2025 年にはサステナビリティ委員会を設立し、環境・人材・ガバナンスの観点から、自社の取り組みや課題を改めて整理しました。本レポートでは、この 1 年間の主な取り組みと、これから目指す方向性をご紹介します。



1. トップメッセージ：昭光通商が目指す、サステナビリティ経営

昭光通商株式会社 代表取締役社長 サステナビリティ委員長 渡邊 健太郎

近年、私たちを取り巻く事業環境は大きく変化をしています。気候変動への対応、人材不足、サプライチェーンの再構築など、企業や社会が向き合う課題は複雑さを増しています。こうした変化を背景に、お客様が求める価値も大きく変わりつつあり、それに伴って、商社に期待される役割も変化しています。

私たちは、これまでのように「素材を届ける」だけでは、お客様や社会から選ばれ続けることはできません。お客様とのコミュニケーションを通じて、お客様が抱える課題の本質を理解し、最適な素材、技術や情報を組み合わせながら新たな価値をつくりだす存在へ変わっていかねばなりません。



その挑戦が、昭光通商のサステナビリティ経営の原点であると考えています。

私たちは、現在の中期経営計画において「脱炭素社会への貢献」を重要課題の一つと位置付け、経営理念として掲げる『快適な社会づくり』に資する新たな価値創造への挑戦を続けております。

今後も、環境関連事業の拡大、人材への投資、情報開示の充実を通じて、社員一人ひとりが挑戦し続けられる企業文化を育みながら、サステナビリティ経営の実現と企業価値向上に取り組んでまいります。

2. この1年間の主な取り組み

昭光通商グループでは、「環境」をキーワードにした GX（Green Transformation）の推進、人材投資、サステナビリティ情報の可視化を重点テーマとして取り組んできました。

GX（Green Transformation）の推進：

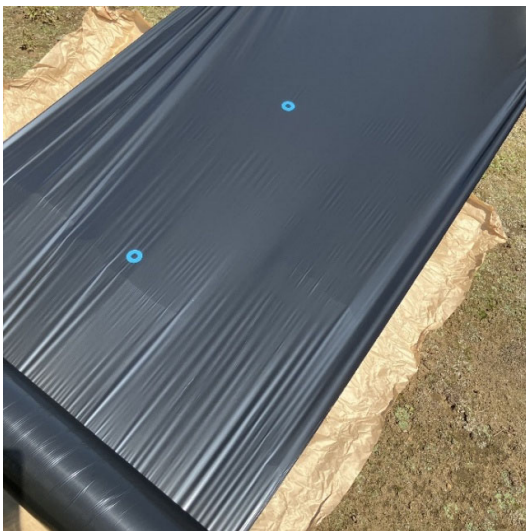
近年、製品の性能だけでなく、どのような素材を使い、どのようなサプライチェーンを経て届けられるのかまでが問われる時代へと変化しており、これらが企業の競争力を左右する重要な課題となっています。

昭光通商グループでは、こうした変化を新たな価値創造の機会と捉え、GX（Green Transformation）サプライチェーンの構築を目指しています。生分解性マルチフィルムやリサイクルアルミ、溶剤リサイクルなど、資源循環や脱炭素に貢献する商材の提案を進めるほか、お客様が求める調達、物流、加工、在庫機能を組み合わせることで、お客様の課題解決を支援しています。

私たちは、素材と情報をつなぐマテリアル・インテリジェンス・カンパニー¹として、資源循環の推進と脱炭素の実現を通じ、社会課題の解決に挑戦しています。

主な取り組み

- 農業用の生分解性マルチフィルムの提案による、農業現場の環境負荷低減
- リサイクルアルミや溶剤リサイクルをはじめとする資源循環商材の開発・提案
- 調達・物流・加工・在庫機能を活用したお客様の安定調達支援



農業用の生分解性マルチフィルムの開発・販売



環境負荷低減に繋がる生分解性マルチの活用

人材投資：

昭光通商グループでは、持続的な成長を支える最も重要な基盤は「人」と考えています。社会課題の解決や新たな事業の創出は、社員一人ひとりの挑戦と成長によって生み出されるものです。そのため、社員が自らの専門性を高め、変化する事業環境の中で新たな価値を生み出せるよう、専門性と提案力を備えたプロフェッショナル人材の育成に継続的に取り組んでいます。

この1年間では、社員一人ひとりの専門性や提案力の向上を目指した教育体制の充実を進めてまいりました。営業部門と管理部門の人材交流を通じた育成に加え、財務・法務・貿易実務といった事業を支える専門知識や英語、生成 AI の活用支援など、今後の事業環境の変化を見据えた研修・勉強会を実施し、社員一人ひとりの能力開発を推進しています。

主な取り組み

- 営業部門・管理部門間の人材交流
- 財務諸表、契約書実務、貿易実務研修
- 英語教育選抜研修
- 生成 AI 勉強会



能力開発に繋げるための各種研修



社員が心身ともに健康に活躍できる環境づくり

また、人材への投資は能力開発だけではなく、社員が心身ともに健康で活躍できる環境づくりも重要であると考えています。その結果、健康経営優良法人認定を3年連続で取得しました。

今後も、社員一人ひとりが自らの可能性を広げ、挑戦し続けられる環境を整えることで、個人と会社の持続的な成長を目指していきます。

サステナビリティ情報の可視化：

昭光通商では、持続的な成長と企業価値向上に向け、サステナビリティに関する推進体制および情報の可視化にも取り組んでいます。この1年間は、サステナビリティ委員会を中心にグループ横断での情報収集・整理を進め、重要事項（マテリアリティ）の特定や温室効果ガス排出量の可視化に着手しました。

また、グループ横断でサステナビリティに関する情報を収集・整理する体制を構築し、事業と社会課題との関連性を可視化しました。これにより、経営判断や情報開示の質の向上に取り組んでいます。

主な取り組み

- サステナビリティ委員会による情報収集・整理
- マテリアリティの特定
- 温室効果ガス排出量の可視化への着手

3. これからの挑戦

当社グループは、環境関連事業の推進を通じて社会課題の解決と企業成長の両立を目指します。また人的資本への投資や働きやすい職場環境の整備を継続し、持続的な企業価値向上に取り組めます。

¹ マテリアルインテリジェンスカンパニーとは・・・経営課題、社会課題の解決ができる素材のプロフェッショナル集団

■ 昭光通商とは

会 社 名 昭光通商株式会社

住 所 東京都港区芝浦三丁目1番1号 田町ステーションタワーN 31 階

代 表 者 名 代表取締役社長 渡邊 健太郎

設 立 1947 年 5 月

事 業 内 容 化学品、合成樹脂、金属・セラミックスなどの素材を取り扱う商社として、多様なサプライヤーと顧客をつなぎ、調達から物流、加工、製品化までを一貫して支援するソリューションを提供しています。

海 外 拠 点 タイ、韓国、台湾、中国

U R L <https://www.shoko.co.jp/>

■ 本リリースに関する問い合わせ先

昭光通商株式会社

URL <https://www.shoko.co.jp/contact/>